

<2030年のSDGs達成に向けた経営方針と目指す姿>

世界の焼却炉のおよそ80パーセントが日本にあると言われている。今後化石燃料を使って廃棄物を焼却することは環境保護の観点から見直しが必要であることは明らかである。ポスト焼却炉として、燃料を使用せず、有害物質を排出しない装置の普及により環境問題に貢献して行く。

<SDGsに関する重点的な取組み及び指標>

三側面 (分野に◎)	SDGsに関する重点的な取組み	指標
◎環境 ○社会 ○経済	空港、食品加工工場等に廃棄物の熱分解エコ処理システムの実証実験環境を作り普及につなげる	全国10か所以上に設置 1台当り Co2 削減効果180t/年→10台で1,800t削減
◎環境 ◎社会 ○経済	地域ボランティア等とのコラボレーションによる熱分解装置を活用した海洋漂着ごみ処理活動実施	車載型熱分解装置にて海洋漂着ごみの処理を行う。長崎県対馬市ほか年3回以上実施。
◎環境 ○社会 ◎経済	カーボンオフセット市場に参加する仕組みを作り、低炭素社会の実現に寄与する。	機械が普及した際に当社が手掛ける機械の Co2 削減効果を市場にて売買する仕組みを1年以内に作る。

<パートナーシップ>

熊本県立大学環境共生学部に協力頂き、燃料を使用せず環境にやさしい廃棄物処理システムの普及を目指す。

- ・「SDGsに関する重点的な取組み」には環境・社会・経済の三側面の全てについて、重点的な取組みを記載してください。なお、取組みが複数の分野に該当する場合は、それぞれの分野にチェックを入れてください。
- ・「指標(更新時に向けた数値目標)」には、それぞれの取組みに対する「目指す姿」の実現を念頭に、更新時までの数値目標を記載してください。
- ・「パートナーシップ」には、企業やNPO法人、行政など関係機関との連携があれば記載してください。

○ SDGsに関する重点的な取組み及び指標に係る進捗状況(※更新の場合のみ。)

○登録状況:第 期登録(登録年月日: 年 月 日)

○登録番号: 号

<SDGsに関する重点的な取組み状況、前期の指標及び実績>

三側面 (分野に◎)	取組みの状況	前期の指標	実績
○環境 ○社会 ○経済			
○環境 ○社会 ○経済			
○環境 ○社会 ○経済			

- ・「登録状況」及び「登録番号」を記載してください。

・「取組みの状況」には、前回登録申請した際の重点的な取組みの実施状況や指標の達成状況を記載してください。指標が未達成の場合は、その理由等も記載してください。